

令和8年度第1回優良図書推奨一覧表

番号	対象	図書名・著者名	出版社	発行年月日	規格 頁数 価格	推薦理由(推薦基準)
1	小学生 (中学年) ～ 小学生 (高学年)	海を科学するマシンたち深海ロボット 海のふしぎを調べろ！ 作・絵/山本省三	くもん 出版	2024年 6月28日	25.6× 19.5cm 40頁 1,650円	「海を科学するマシンたち」の三作目です。深い海の中を調べるロボット(無人探査機)が紹介されています。人が乗れる潜水調査船と異なり、危険な所、狭い所などその特性を生かした働きがわかります。絵で描かれているので、小さな子にも理解しやすい。 (2)(5)(7)
2	中学生 ～ 高校生	七月の波をつかまえて 作/ポール・モーシャール 訳/代田亜香子	岩波 書店	2024年 6月28日	19.5× 13cm 290頁 2,090円	夏休み、ジュリエットはミシガンからカリフォルニアへ母と二人でやってきました。そこで太陽のように明るいサマーと出会い、お互いをみることで自分自身をも理解していきます。しかし言えない事を抱えながら別れの日は近づいてきます。優しさつつよさを二人に感じる爽やかな読後感です。(1)(8)(10)
3	小学生 (低学年) ～ 高校生	わたしのくつしたはどこ？ ーゆめみるアデラと目のおはなしー 文/フロレンシア・エレラ 絵/ベルナルディータ・オヘダ 訳/あみのまきこ	岩崎 書店	2024年 9月30日	26× 21cm 57頁 1,870円	絵本を通して、見え方の感覚に自然と気づくことができる仕組みになっている。多くを語って聞かせるのではなく、心の中に少しずつゆつくりと蓄えられていき、いろいろな経験を通して、相手理解や優しさにつながってほしいと願う内容となっている。 (1)(5)(9)
4	小学生 (高学年) ～ 高校生	新伝記 平和をもたらした人びと8巻 国境なき医師団 文/光丘 真理	Gakken	2024年 4月9日	21× 15cm 144頁 1,870円	国境なき医師団の設立から活動内容、問題点や将来への課題が日本スタッフ達の取材を通して書かれてあります。悲しく残念なことや「子どもたちに伝えたいこと」なども現地から生の声として紹介されています。とても平易な言葉にも注釈がつけられ、幅広い子どもたちに理解されることを願います。 (1)(4)(9)(10)
5	小学生 (中学年) ～ 中学生	ふしぎな魔法パズル ルービックの発明物語 文/ケリー・アラディア 絵/カラ・クレイマー 訳/竹内 薫	西村 書店	2024年 12月7日	23.5× 23.5cm 34頁 1,980円	身近なものの仕組みを想像し、試行錯誤を繰り返すルービック少年の姿は、子どもたちに「考える楽しさ」を伝えてくれます。世界的な大発明の裏側にある、豊かな好奇心とひらめきの物語。夢を持つすべての子どもたちへ。(10)
6	小学生 (高学年) ～ 高校生	選挙、誰に入れる？ ちょっとでも良い未来を「選ぶ」ために 知っておきたいこと 監/宇野重規	Gakken	2024年 3月5日	21× 18.5cm 188頁 1,760円	政治の大事な仕組みをいろいろと世界的な視野からわかりやすく紹介している。自分が選挙で投票するという見方で自主的な読みが期待されており、より良き未来を思い描く豊かな心を情操する本と言える。 (4)(5)(9)(10)
7	小学生 (中学年) ～ 高校生	鳥居 きみ子 家族とフィールドワークを進めた人類学者 著/竹内紘子	くもん 出版	2024年 2月26日	19× 13cm 183頁 1,540円	人類学者鳥居龍蔵と妻きみ子と家族らがモンゴルに出かけて厳しい環境の中、人類学を進めていくさまが描かれていく。人類学の発展のために幾多の困難を乗り越えて人生を全うしていく生き方を描いたもので子どもたちに良き影響を与える一冊となっている。 (1)(4)(10)
8	幼児 ～ 小学生 (中学年)	こんやは はなびたいかい 作/きしだえりこ 絵/あべはるえ	福音館書 店	2025年 6月1日	27× 20cm 28頁 1,320円	花火を見る視点が人間ではなく、地上に生きる様々な動物であるという斬新なアイデアで興味をそそる絵本である。最初と最後に登場するのが、あなぐまで、彼は花火をいっさい見ないという面白い構成をとまっている。ちょっと不思議な場面の数々が興味をそそるお話となっている。(2)(6)(7)

番号	対象	図書名・著者名	出版社	発行年月日	規格 頁数 価格	推薦理由(推薦基準)
9	小学生 (中学年) ～ 高校生	見えない壁だって、超えられる。 クライマー小林幸一郎の挑戦 文/高橋 うらら	金の星社	2024年 9月	19.5× 13.8cm 155頁 1,650円	視力を失いながらもクライミングを通して再び希望をつかんだ小林さんの歩みは、困難に向き合う勇氣と社会へ踏み出す力を教えてくれます。自分の可能性を信じ、挑戦する喜びを若い世代に伝える一冊です。(9)(10)
10	小学生 (高学年) ～ 中学生	透明なルール 著/佐藤いつ子	KADO KAWA	2024年 4月24日	19.5× 13.8cm 217頁 1,650円	同調圧力に揺れながらも、自分らしさを取り戻していく主人公の姿は、青少年が心の健康を守り、健全に成長するための大切な視点を示してくれます。周囲と向き合う力を育む一冊です。(10)
11	小学生 (低学年) ～ 小学生 (高学年)	ペルーのむかしばなし アチケと天のじゃがいも畑 文/宇野和美 絵/飯野和好	BL出版	2024年 3月20日	29.5× 22cm 32頁 1,980円	姉弟の思いやりと祈りが奇跡を生む物語で、愛情豊かな心を育てます。自然の恵みへの感謝や食べ物を大切にする姿が描かれ、力強い絵と共に子供の情操を豊かにする一冊です。(1)(2)(6)
12	小学生 (中学年) ～ 中学生	こころのラリー 卓球メダリストのメンタルに学ぶ た くましく生きる22のヒント 著/水谷隼 石川佳純	小学館	2024年 5月15日	21× 14.7cm 126頁 1,540円	実際にオリンピック選手であった水谷隼さんと石川佳純さんの体験とその時々を考えてきたことがとてもリアルに伝わってきます。オリンピック選手であっても、普通の子ども時代を送ってきました。そしてたくさんの壁にぶつかりながら、その度に強い心を獲得し成長してきたといえます。スポーツが大好きな子どもたちに未来に向かってたくさんのヒントがもらえます。(1)(4)(7)(10)
13	小学生 (高学年) ～ 高校生	マナティーがいた夏 作/エヴァン・グリフィス 訳/多賀谷正子	ほるぷ 出版	2024年 7月9日	182× 128cm 360頁 1,760円	登場人物の揺れる心の内が機知に富んだ比喩で表現され、話の展開のおもしろさと相まって、引き込まれる。二人の再会後の「イヤなやつだとは思っていないよ。」の会話に続く比喩は「ケーキを一度焼いたことがあるだけでパティシエっていいのと同じだよ。」と続き、軽快さが心地よい。マナティとピーターの家族、彼を取り巻く人々が物語に深みを与えており、読者は深い読後感を味わえる。(1)(2)(10)
14	小学生 (低学年) ～ 高校生	ミライチョコレート 著/ザ・キャビンカンパニー デザイン/脇田あすか	白泉社	2024年 1月24日	26.3× 21.7cm 40頁 1,650円	3024年という10世紀先の未来が描かれている。エイヨウダマやヘソデンキで生活できる進化の様子と、チョコレートを知らない家族の姿が印象的である。チョコレートの作り方を知っているロボットが残っていて、カカオがあって良かったと感じられる。同時に、育て、作り、食すことがかけがえのないことだと感じられる。新たな視点を与えてくれる1冊である。(7)(10)
15	幼児 ～ 小学生 (低学年)	おやつにしましょう 作/ハンス・テン・ドウルンカート 絵/しもかわらゆみ	講談社	2024年 2月27日	26.4× 21.7cm 24頁 1,650円	しもかわ氏のやわらかなタッチの絵が動物たちの心温まる物語を展開します。やかんの湯気が雲になって林やくさはらをおどるように逃げていき、雪となって光る様はとても美しく、湯気も楽しんでいるようです。その雪をやかんにいっぱい注いで沸かしたお湯でお茶を入れ、あなぐまが焼いたケーキを食べる動物たちの表情がとても優しく、部屋の温かさやケーキのあまづっぱいにおいまで伝わってきそうです。(1)(2)(6)
16	小学生 (中学年) ～ 小学生 (高学年)	魔女がやってきた！ 作/マーガレット・マーヒー 訳/尾崎愛子 絵/はたこうしろう	徳間 書店	2024年 6月30日	21.6× 15.7cm 128頁 1,650円	とびきり楽しい魔女のおはなしが5つ、日本の子どもたちのために編集されました。美しく若い魔女や、イジワルだけど最後にとても素敵な贈り物してくれた親戚のおばさん魔女など、お気に入りの魔女に出会えるでしょう。挿絵は絵本作家の、はたこうしろうさんです。(1)(8)
17	小学生 (高学年) ～ 中学生	くろい はまべ ーアースデイのはじまりー 文/ショーナ＆ジョン・ステイス 絵/マリベル・レチューガ 訳/武富博子	評論社	2024年 4月10日	28.5× 22.5cm 40頁 1,980円	美しい海が石油で黒く染まったあの日、一人の少女が立ち上がりました。実話をもとに描かれる「アースデイ」誕生の物語。悲しみを希望に変え、世界を動かした子供たちの勇氣は、未来を生きる力を与えてくれます。(9)

番号	対象	図書名・著者名	出版社	発行年月日	規格 頁数 価格	推薦理由(推薦基準)
18	幼児 ～ 小学生 (低学年)	だれかがきたよ 文/得田之久 絵/垂石真子	福音館書店	2024年 11月15日	21.7× 20.5cm 24頁 990円	夜、ぼくが絵本をみていると「ピンポン」と音がして、玄関にはあひるさんが。その次には、ぱんださん、わにさん、たこさん、かばさんがやってきて、みんな一緒に絵本を読んでおやすみなさい。寝る前の歯みがきや着替えをみんなですたらしくできました。 (1)(10)
19	幼児 ～ 小学生 (中学年)	しぜんに タッチ！ こおりの せかい なんきよくへ いこう 監/国立極地研究所 制作・イラスト/鈴木えりん	ひさかた チャイルド	2024年 12月	21× 24cm 28頁 1,430円	南極の北極との違いは大陸の土にあることです。大きな氷を割りながら進む南極観測船の目的は、南極の観測だけではありません。空から地球全体の様子、深いところの氷や岩から、昔の地球の様子などを調べています。また、地球が抱える環境問題の基礎となる情報を集めることもできます。東京からはるか1万4千km離れた厳しい場所での地球の未来を考えてくれている隊員のみなさまに感謝の気持ちがあふれます。(2)(5)(7)
20	中学生 ～ 高校生	僕たちは星屑でできている 作/マンジート・マン 訳/長友恵子	岩波書店	2024年 1月19日	19× 13.2cm 398頁 2,420円	難民支援のためドーバー海峡横断泳にチャレンジしようとする高校生と、アフリカの独裁国エリトリアから脱出を試みた17歳の独白が詩の形で交互に綴られます。言葉は追いつけず、一つの物語をくつきりと描き出していきます。読者は過酷な体験を共有することで、希望を見つけられることでしょう。 (4)(5)(6)(9)
21	小学生 (低学年) ～ 小学生 (中学年)	山の学校 キツネのとしいいん 作/葦原かも 絵/高橋和枝	講談社	2024年 11月18日	22× 15cm 95頁 1,650円	心温まる慈愛深い読み物であり、読んでいて大変に心地よい。ストーリーに流れる作者の主張には壮大な自然愛が根底にあり、それゆえ読みごたえがある内容となっている。低学年の子どもたちにも将来において大きな思いを残すものとなっている。 (1)(2)(10)
22	小学生 (高学年) ～ 中学生	レオがのこしたこと ヴェステルボルク収容所の子どもたち 作/マルティネ・レテリー 訳/野坂悦子	静山社	2024年 11月6日	19.5× 13.5cm 159頁 1,540円	第二次世界大戦中、7歳でヴェステルボルク収容所に入れられたユダヤ人の少年レオ・メイエルが営む命の証ともいえる日々の記録が書かれている。理不尽な戦争が引き起こす悲劇な狂気と苦悩が描かれている。不安定な世の中であるがゆえに少年、青年期の皆さんに読んでもらいたい本である。 (4)(5)(10)
23	小学生 (高学年) ～ 中学生	古生物がもっと知りたくなる化石の話 恐竜と絶滅した哺乳類の姿にせまる 著/木村由莉	岩波書店	2024年 8月9日	18× 13cm 117頁 1,595円	古生物学者が、昔に絶滅した恐竜や哺乳類の姿を解明していく様子を学者と同じ目線で体験していける本となっている。「正解のない問い」への答えをわくわくする気持ちで見出していく研究の面白さを体得していくことができる良き本である。(2)(5)(10)
24	小学生 (中学年) ～ 小学生 (高学年)	恐竜博物館のひみつ 作/別司芳子 絵/ながおかえつこ	文研出版	2024年 7月30日	19.3× 13.5cm 191頁 1,650円	福井県立恐竜博物館研究員から取材協力で化石が語る事実検証を織り交ぜて、二人の小学生と研究員との交流を見事に描いていく。国際交流、人権、自然環境など、様々な課題を底流に持たせながら話を展開させていく。単なる科学的な読み物ではなく、多様な読みが展開できる秀作となっている。 (1)(2)(5)(7)(10)
25	幼児 ～ 高校生	ぼくが ここに 詩/まど・みちお 絵/きたむら さとし	理論社	2024年 11月	27.5× 23cm 32頁 2,090円	言葉だけでは理解し難いものも挿絵があることで読み手の想像を広げることができます。人であっても動植物であっても、場所が地上であっても海であっても、それぞれに居場所があり、そこに「いること」に価値があるといっているように感じます。その年代や読んでいる場所などによって、自由な想像を委ねられています。ただ、素直にページをめくってその世界に浸り、読み進めてほしいです。(1)(2)(6)
26	小学生 (高学年) ～ 高校生	あなたの言葉を 著/辻村深月	毎日新聞出版	2024年 4月5日	18.8× 13cm 234頁 1,540円	実体験に基づく誠実な言葉が、読む者の情操を豊かに育みます。自分と向き合い、感情を言語化するプロセスは、深い思考力と確かな教養を授けてくれるはず。孤独な夜に寄り添い、確かな指針を与えてくれる一冊です。(1)(5)(7)
27	幼児 ～ 小学生 (高学年)	なにができるかな？ 著/植田まほ子 料理/ワタナベマキ スタイリング/駒井京子	主婦と生活社	2024年 7月1日	19× 26.5cm 31 頁 1,540円	材料の絵をよく見て「なにができるのかな？」と想像し、ページをめくって正解の料理を見るワクワク感がたまりません。材料もできあがった料理もとてもリアルな絵で温かさやにおいまで漂ってきそうです。また、「作ってみよう！」では、挿絵で出てきた料理の作り方の手順が写真付きで書いてあるので、創作意欲がわきます。きっと家族で料理を楽しむことができるでしょう。(1)(5)(7)

番号	対象	図書名・著者名	出版社	発行年月日	規格 頁数 価格	推薦理由(推薦基準)
28	小学生 (高学年) ～ 中学生	アメリカから来た友情人形 作/今関信子 絵/双森 文	新日本出版	2024年 8月20日	19.8× 13.5cm 157頁 1,650円	ついに「新型コロナウイルス感染症」という言葉が児童書においても出てくるようになったかという驚きから読み始めました。気の合う小学六年生等が自校にある友情人形について調べていきます。次々と出てくる疑問を追究しながら、人形の背景にある戦争という悲惨な歴史にも気付かされました。実際の学校や人物、出来事に基づいた話であることから、平和の意味について考えさせられます。(1)(3)(4)(5)
29	小学生 (高学年) ～ 高校生	クリスマス・キャロル 作/チャールズ・ディケンズ オスカー・ワイルド 作・訳/村岡花子	講談社	2024年 10月29日	18.5× 13.8cm 229頁 1,980円	ケチで偏屈者のスクルージはクリスマスがめでたいなどと思ったことはありません。ある時、共同経営者であったマーレイの幽霊が現れ、過去・現在・未来の幽霊に導かれ、これまでの自分や他人の姿、死体となった未来の悲惨な姿を見ていきます。この不思議な体験を通して、スクルージは改心し、だれからも愛される慈愛に満ちた人間になりました。本当に大事なものは何か、考えさせられます。(1)(4)(6)